

(様式第4号)

上田市交流文化芸術センター運営協議会 会議概要

1 審議会名	第3回 上田市交流文化芸術センター運営協議会
2 日時	令和2年11月17日 午前9時30分から午前11時40分まで
3 会場	上田市交流文化芸術センター多目的ルーム
4 出席者	荒井洋文委員、岩木功委員、関和幸委員、田中美恵子委員、 平田利江子委員、山寺高太郎委員
5 市側出席者	柳原政策企画部長、西田館長、荻原総合プロデューサー、久保田副館長、 小澤プロデューサー、小泉舞台技術係長、宮下広報等係長、堀内総務係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人
8 会議概要作成年月日	令和2年12月7日

協 議 事 項 等

第3回 交流文化芸術センター運営協議会

1 開会 (久保田副館長)

所用のため欠席となった委員の報告あり。(島田委員、吉本委員)

2 あいさつ (柳原部長)

3 会議事項

会議冒頭

○事務局 (久保田副館長) から前回いただいた意見を反映した修正版の第2期運営管理計画について、修正箇所を説明。

委員 異議なし

○交流文化芸術センター第2期運営管理計画について

・事務局 (久保田副館長) から交流文化芸術センター第2期運営管理計画 (V～VII) について説明

V 運営管理体制について

【委員1】

- ・継続して直営での運営とのことだが、担当職員が早ければ3年程度で異動となる。経験を積んだとしても3年で異動されてしまえば、事業のレベルの継続性が担保されないのではないか。人材の確保も含め、直営であっても不安が残る。ノウハウがゼロになることはないと思うが、専門性を持った人材を継続して確保することが必要なのではないか。
- ・料金設定が安すぎると思う。このレベルの施設をこの金額で利用できる価値が理解されていないと思う。公民館等と同じ公共施設ではあるが、専門のスタッフ、機材を擁するサントミュージゼと公民館とは違う。同じ感覚で利用してもらうのは違うと思う。公民館で十分にできる事業は公民館でやるべきであるし、サントミュージゼでなければできない事業との切り分けが必要なのではないか。「市民のホールなんだから」、「税金を払っているんだから使って当然だ」という感覚は違うと思う。
- ・直営であるということは、市の意向が直接反映されることがあり懸念される面もあると思う。文化芸術は独立性、独自性が担保されるべきものであると思う。そういう考えもあると思うがいかがか。

【事務局1】

- ・開館時に専門性を持った職員を採用してきた。施設の運営についてはそういった職員の配置が必要であることは認識しており、引き続き、職員配置については配慮してまいりたい。
- ・料金設定については、開館当初、松本市の料金を参考にして設定した。料金が安いといった声は承知しており、今後検討してまいりたい。利用の住み分けについては、これまでの利用状況を踏まえ、検討してまいりたい。
- ・指定管理については、民間企業にすべてを任せるということは考えていない。ある程度、市の意向も反映させたい部分もあるので、財団を立ち上げて指定管理者とするのかといった検討も必要である。
- ・市としては芸術活動に対して制限を掛けることは考えていないが、予算の状況もあるので、すべてが実現できるものではないことはご了解いただきたい。

【事務局2】

- ・指定管理者については地域創造の調査によると、指定管理者の半分程度は自治体が創設した財団が請け負っている。最近の傾向としては、指定管理者から直営に戻していることもある。行政による文化芸術への権力の介入については、自治体の姿勢が問われるものである。その自治体がどれだけ覚悟を持って、文化芸術に取り組むのかといったことであると思う。

【委員2】

- ・指定管理者制度を導入するのであれば、民間企業に任せるのではなく、きちっとした財団を設立し、市と財団と良いバランスで事業を運営できればいいのではないかと思う。
- ・文化芸術に対する姿勢を確認して、取り組むべきであると思う。
- ・運営の方法については今後も引き続き検討していくべき課題であると思う。

【事務局3】

- ・施設管理、運営については財政とのバランス取りが難しい。直営ならではの良さもあると思う。いずれにしても引き続き検討すべき課題である。

【委員2】

- ・管理運営費と事業費との議論が混在しているのでわかりにくいのではないかと。運営管理やアウトリーチ事業、館内での事業等と一体化されていると思うのでわかりにくい。できれば、それぞれ事業分野別に事業費の資料があればよいのではないかと。

【事務局4】

- ・管理経費、事業費と大きく分けて2つある。事業費についてはアウトリーチ事業、公民館でのふれあい事業、館内で行う鑑賞事業とすべてがつながっている事業であるため、切り分けが難しい。
- ・指定管理については、検証委員会からの答申書において、引き続き直営で運営していくとの方向性が示されており、議会にも報告して承認していただいている。しかしながら、社会情勢の変化等によって、当然見直すべきことであると認識している。

【事務局2】

- ・指定管理者を募集する際には仕様書を作成する。アウトリーチ事業を実施できることを要件として募集することになる。(補足)

【委員1】

- ・アウトリーチ事業については直営のメリットがある。財団を立ち上げて専門の職員を採用して、市の職員を派遣しての運営であれば可能であると思う。

【事務局 4】

- ・指定管理の議論については、検証委員会で議論されており直営での運営との方向性が示され、議会にも報告している。8名の構成で4名は県外の学識経験者を交えて議論しており、検証委員会には細かな資料を提示して方向性を定めているのでご理解いただきたい。

【委員 2】

- ・今後、事業ごとの資料はいただけるのか。

【事務局 4】

- ・次年度予算の事業ごとの資料は提供する。（議会承認後）

【委員 3】

- ・昨年、検証委員を務めた。指定管理云々の議論については、事業費も含め、直営で運営がうまくいっているのが当面はこのままでとした経過がある。しかしながら、この先もずっと指定管理でよいのではなく、いずれ議論は必要であるとの認識である。
- ・資料については、数字についてはいろいろな切口があるので、出せるものは出していただいてよいが、指定管理とすべきか具体的な検討になった段階でよいと思う。

【委員 4】

- ・今後も運営協議会でしっかり議論することが大事であると思う。
- ・人事については、早くて3年で異動があるのは課題であると思う。人事については難しいことではあると思うが、検討してほしい（要望）

VI 収入の確保について

【委員 1】

- ・収入の確保策については提案のとおりでよろしいが、イベントの開演時間については要検討であると思う。18時～20時に終演となると県外の方は新幹線で帰れる。宿泊等につながるような時間帯を検討してほしい。

【事務局】

- ・開演時間の判断は難しいことであり、各主催者ともかなりリサーチをして、15分単位で検討して決定している。社会情勢の変化による影響もある。昔は金曜の夜はかなりの集客率であったが、現在は平日休日問わず、昼間の公演に集まる傾向になっている。
- ・例えば終演を20時にしてしまうとお子さんがある家庭は避ける傾向があり、一方で19時前の設定とすると仕事をしている方は難しいといった状況もある。こうした諸々の状況を勘案して開演時間については決定している状況である。今後も検討してまいりたい。

【事務局 2】

- ・経済波及効果含め、地域社会への貢献も引き続き考えてまいりたい。

【委員 2】

- ・使用料については、かなり安いのではないかと思います。自分も利用者であるが、市の他の施設と比較しても（施設の機能を踏まえても）安いのではないかと。他の自治体のホールと比較しても安いですが、利用者としてホールの利用自体をブランドとして料金設定とされても納得できる部分もある。例えば、サントミューゼのホールで演奏したということが価値になると思うので、そうしたことも踏まえて料金設定をしてもいいのではないかと思います。

【事務局 2】

- ・使用料を上げるのは最後の手段であると考えている。まずは経費削減、収入の確保に向けた努力をすることが最優先であると認識している。

【委員 3】

- ・使用料を上げるのは最後の手段であるとのことだが、利用するにあたり適正価格であることは重要である。料金改定の際には市民に納得していただける丁寧な説明をお願いしたい。
- ・SNSも含め情報発信はかなり重要。まだまだイベント情報等、知らない方もいる。引き続き取り組んでいただきたい。
- ・企業協賛・支援の獲得については重要ではないかと思う。

【事務局 3】

- ・企業協賛については館長自らの仕事であると認識している。ただし、コロナ禍の影響もあり社会情勢的に難しい時期、タイミングである。機会を捉えて獲得に向けて動いていく。

VII 運営管理経費について

【委員 1】

- ・収入について減額となっているが、人件費はそのままとなっている。収入は減ったものの経費は変わらないのか。

【事務局】

- ・人件費については、検証委員会においても事業規模に対する人員配置は適正であると評価いただいている。

【委員 1】

- ・人件費についてはサービスの提供・維持を考えるとやむなしであると思うが、実施事業自体を精査し支出を抑えても収入は減ってしまうのはコロナ禍の影響もあるのか。

【事務局】

- ・コロナ禍の影響もあり、収入が落ち込んでいる状況である。

【委員 1】

- ・アフターコロナにおいて、今後の見通しはどうか。

【事務局】

- ・4月～6月は休館となっていたが、7月からは貸館も例年通りの動きとなってきている。自主事業も再開し始めたところであり、ガイドラインに基づき50%の入場制限を踏まえての実施となっている。コロナの状況については感染者が増えつつあり危惧している状況ではあるが、感染対策を万全にしつつ事業を進めてまいりたいと考えている。

【委員 2】

- ・自主事業で作成した作品を県外のホールで上演して、それを収入とすることはしないのか。

【事務局 2】

- ・開館当初は作成した作品を県外のホールで上演したことはあったが、最近は予算の都合もあり実現できていない。

【委員 2】

- ・確かに費用が掛かることはわかるが、収入になることでもあるし、ここで作った作品が市外に出ていく、発信するという事はシビックプライドに繋がることでもあると思う。
- ・市民サービスの低下、公立文化施設としてのサービスの低下の表記が目立ち、サービス業としての側面ばかりでなく、文化芸術の価値を証明していくことが文化施設の使命であり役割であることも標記してもいいのではないか。
- ・「創造」という言葉が少ない。創造・創作といったところにお金をかけていくスタンスを表明してもいいのではないか。

【事務局 2】

- ・ご指摘のとおり、劇場として創造・創作活動については大切にしていきたいと思います。

【事務局 3】

- ・サービス提供の側面だけでなく、経験豊富なスタッフの育成、配置、人材確保については言葉を補ってまいります。

【委員 3】

- ・アウトリーチ事業に関して・・・あこがれる存在を育ててほしい。よき指導者を招いてほしい。

【事務局】

- ・地元のアーティストも有名な方が多くおり、若い世代も確実に育ちつつあると感じている。引き続き、地域に貢献できる事業を実施していきたいと思います。

— その他質問なし —

【委員長】

本日の会議事項が終了しましたので、進行を事務局に戻します。

4 その他

【事務局】

次回、第4回運営協議会につきましては、年明けの1月下旬から2月下旬に予定しております。日程調整につきましては、後日、担当から連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

また、本日いただいたご意見を反映させた「第2期運営管理計画書」について、修正できしだい委員の皆様にお送りしますので、お目通しいただき、メール等で御意見を寄せていただければと思います。そこからさらに修正を加えたものを次回の運営協議会で協議いただき、最終的な「第2期運営管理計画書」としたいと考えております。よろしく願いいたします。

【委員】

了承

5 閉会